

理研会報

発行日：平成27年3月20日
号数：No. 372
発行：印旛地区教育研究会理科研究部
HP：<http://rikainba.com>
メール：rikainba@yahoo.co.jp



年度末は人事異動の時期。理科研究部の理事の先生方の中にも今年末をもってご勇退される先生方がいらっしゃいます(右記参照)。理研会報372号では、その中から理科研究部長を務められたお二人の先生からメッセージいただきましたので掲載いたします。

本年度退職される理事の先生方

成田市立西中学校長	岩井 睦先生
八街市立実住小学校長	川原裕二先生
印西市立小林中学校長	吉田 清先生
印西市立印旛中学校	松田治久先生
四街道市立中央小学校長	森 成雄先生

理科研究部の思い出

成田市立西中学校 岩井 睦

教員になって経験も浅いころ、部活動に夢中になりすぎている自分に、当時の教頭先生から「先生は何の先生ですか、卓球部の先生じゃないでしょ」と言われ、本当に恥ずかしい思いをしたことを今のように覚えています。以来、3部会の理科研究部にお世話になり、部会作品展、銚子市や市原市などに野外研修会に出かけたこと、研究員が集まって理科の教材や教具のことや教研の提案資料の準備を進めたことなど、今となってはとても懐かしく思い出します。また、千理研印旛大会の時には、会員の皆様のご協力をいただき、成功裏に終わり、改めて研究部組織の力を感じさせられたものでした。

研究部の活動は、理科作品展と研究集会が主なものです。特に理科作品展については、印旛の作品のレベルが上がってきており、県展においても特別賞をはじめとしてたくさんの作品が入賞するようになってきました。これは、指導方法など研究部をあげて取り組み、会員の皆さんが努力してきたからです。すごいと思います。研究集会は、各部会が研究部員を募り、共同提案が続いており、忙しい中ですが、この体制があるからこそ、理科研究部の組織が機能し、研究指定校への協力等が可能になっています。今後も、理科研究部の皆様のご活躍を期待しております。長い間、たいへんお世話になりました。

「理科研究部は、永久に不滅です！」

四街道市立中央小学校 森 成 雄

印旛地区理科研究部の大きな取組として、印教研集会有ります。この印教研集会における研究の取組は、理科研究部最大の特徴であり、印旛地区ひいては千葉県の理科指導を支えていると言っても過言ではありません。何十年も毎年、各部会ごとに複数の学校の先生方が研究員として、一つのテーマに基づいて研究を進めていく、実態調査に始まり、理論研修、実践による検証と校務多忙の中、多くの先生方に理科のおもしろさ、すばらしさを知ってもらい、それを子どもたちに実践してほしいという願いでがんばって研究に取り組んできました。先輩方もそして、今も思いは同じです。時代は移り、学習指導要領の考え方も変化しています。しかし、理論が新しくなっても、研究として変わらない重要なポイントがあります。

それは、聞く人の立場になって研究するという事です。研究員の熱い思いは大切ではありますが、独りよがりになってはいけません。聞く側の多くの一般の先生方にわかるようにすることが一番重要です。私たちは小中学校の教員であり、研究所の研究者ではありません。すばらしい理論も実践も、一般の先生方にわかってもらい、授業でやってもらって、子どもたちの力になるようにしていくことが、印教研の研究です。これからも理科の専門家の研究ではなく、広く一般の先生方に理科の授業をしっかり行ってもらえるように、それを常に念頭に置いた研究にがんばって取り組んでほしいと思います。

初任から36年間、ずっと理科研究部の一員としてやってこられたことを誇りに思います。たくさんの先生方に大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

本年度末でご勇退される先生方には、すべての理科研究部員が本当にお世話になりました。理事以外の先生方のお名前をご紹介できず申し訳ありませんが、今回ご勇退されるすべての先生方に支えられ、理科研究部が現在のような姿に育てられたと言っても過言ではありません。先生方の思いを受け継ぎ、ますます充実した研究部になるように活動していきたいと思ひます。先生方の今後のご健康とご活躍をお祈りいたします。

例年新年度の印教研総会の後の懇親会が、歓送迎会を兼ねております。今回メッセージを掲載できなかった諸先輩方からお話をうかがうチャンスです。多くの先生方に参加していただくと幸いです。よろしくお願ひいたします。

理研会報も本年度の最終号となりました。多くの先生方に記事をお寄せいただき、今年度も6号の理研会報を発行できました。ご協力に感謝いたします。